

## 令和元年度 事業報告

### 1. 会議

#### 1) 支部大会

令和2年5月15日に開催予定であった令和2年度支部大会は、新型コロナウイルスによる感染防止対策のため中止。なお、議案審議・承認は、令和元年度幹事および令和2年度幹事候補者による本資料の確認をもって代える。

#### 2) 幹事会

##### 第1回 令和元年7月30日(火)

令和元年度 北関東支部幹事の紹介

令和元年度 北関東支部主要事業計画について

令和元年度 北関東支部運営における役割分担について

令和元年度 北関東支部講演会開催計画について

令和元年度 北関東支部オープンスクール開催計画について

幹事会テレビ会議システム利用の改善について

旅費(交通費)の支給について

##### 第2回 令和元年8月29日(火)

2022年秋の年会について

令和元年度 北関東支部オープンスクール進捗について

令和元年度 北関東支部講演会進捗について

テレビ会議システムの検討について

##### 第3回 令和元年10月7日(火)

2022年秋の年会について

支部会活動における自家用車の使用について (原子力学会旅費規定の改定について)

令和元年度 北関東支部オープンスクール進捗について  
令和元年度 北関東支部講演会進捗について  
次年度幹事候補の選定について  
令和元年度 技術功労賞に該当する案件への推薦について  
若手研究者発表会委員の選定について  
テレビ会議システムの検討について

第4回 令和元年12月26日(火)

支部会活動における自家用車の使用について(原子力学会旅費規定が改定された件について)  
12/12に行われた支部協議会について  
2022年秋の年会について  
令和元年度 北関東支部オープンスクール進捗について  
令和元年度 北関東支部講演会進捗について  
来年度幹事候補の選定について  
令和元年度 技術功労賞に該当する案件への推薦について  
交通費の支払いについて  
テレビ会議システムの検討について

第5回 令和2年3月10日(火)

令和元年度北関東支部幹事・令和2年度北関東支部幹事候補の紹介について  
令和元年度 北関東支部オープンスクール実施報告  
令和元年度 北関東支部講演会実施報告  
令和元年度 技術功労賞の選考について  
2022年秋の年会について  
令和2年度(第10回)支部大会および若手研究者発表会の準備について  
持ち回り表の更新について  
新型コロナウイルスに対する対応について(支部大会、講演会、若手発表会の中止、技術功  
労賞は表彰のみ行うことに決定)

3) 若手研究者発表会実行委員会

新型コロナウイルス対策で中止のため、実施せず

## 2. 若手研究者発表会

新型コロナウイルス対策で中止のため、実施せず

(収束状況の応じて令和2年度に2回開催を検討することとした)

## 3. 技術功労賞表彰

令和元年度は次の2件を表彰

### (1) 「熱化学水素製造法 IS プロセスの工業材料性反応器開発と長時間水素製造達成」

日本原子力研究開発機構 大洗研究所

高温ガス炉研究開発センター 水素・熱利用研究開発部 IS プロセス試験グループ

代表 久保 真治 様

### (2) 「JRR-4 の廃止措置に向けた技術管理業務の遂行」

日本原子力研究開発機構 原子力科学研究所

研究炉加速器技術部 JRR-4 管理課

代表 羽沢 知也 様

### 表彰式

新型コロナウイルス対策で表彰式は実施せず。ただし、表彰状、盾及び副賞の進呈を幹事より代表に対し行なった。

## 4. 講演会

### (1) 支部講演会 (オープンスクールと同日に小学生・中学生向けに開催)

日時: 令和2年2月24日(月・祝) 13:00 - 14:00

場所: 公益財団法人つくば科学万博記念財団 つくばエキスポセンター

「より遠くの宇宙を目指して ～ 宇宙放射線を測る ～」

地上と比べて約100倍高くなる放射線環境で、火星に向けた有人飛行の被ばく時間管理等の作成に重要な役割を担う研究の一つが、宇宙環境で使う線量計の精度向上である。講演者の岸本先生の開発した線量計は、従来の線量計と比べて精度を大きく向上させたもので、現在、国際宇宙ステーションで運用中である。

## 5. オープンスクール(来場者総数: 34名+α 家族連れの場合は代表者のみが記入のため)

日時: 令和2年2月24日(月・祝) 10:00 - 16:00

場所: 公益財団法人つくば科学万博記念財団 つくばエキスポセンター

内容:親子実習1「霧箱を作って放射線を観察しよう」

第1回 10:00 ~ 11:20、第2回 11:30 ~ 12:50 (定員 各会親子 15組 30名)

霧箱の製作と、トリウムを含むマントル線源からの $\alpha$ 線や $\beta$ 線、宇宙線の測定体験

親子実習2「身の回りの放射線について調べよう」

第1回 14:00 ~ 14:50、第2回 15:00 ~ 15:50 (定員 各会親子 15組 30名)

3種類の放射線サーベイメータを使用して、放射線宝探しの体験。宝(ポイント数)の総点数に応じたメダルを認定し、メダルの獲得数に応じたオリジナル段位認定証を配布した。

以上

# 日本原子力学会 北関東支部 令和元年度収支決算報告

自 平成 31 年 4 月 1 日

至 令和 2 年 3 月 31 日

(単位:円)

	科 目	決 算	備 考
収入	1. 本部配分金収入(A)	¥1,443,000	
	2. その他収入(受取利息)	¥1	
	(講演会懇親会参加費)	¥40,000	支部大会・支部講演会の懇親会会費
	当期収入計(B)	¥1,483,001	
	前期繰越金(C)	¥975,891	
	収入合計 (B)+(C)	¥2,458,892	
支出	臨時雇賃金支出	¥0	
	会議費(会場)支出	¥103,019	支部大会会場代・ケータリング代・箸及び酒肴代
	旅費交通費支出	¥76,040	支部大会講師交通費 前年度最優秀賞への原子力学会旅費支給、幹事 旅費OSつくば往復2名分
	通信運搬費支出	¥250	切手代(送付用)
	消耗品費支出	¥82,813	事務用品41,288円、雑消耗品41,525円景品ボール ペンメモ帳等)
	一般外注経費支出	¥23,000	前年度功労賞盾代
	出展費支出	¥149,090	OS消耗品(霧箱本体、ドライアイス等)
	委託費支出	¥0	
	賃借料支出	¥0	
	諸謝金支出	¥5,568	支部講演会講師謝金
	雑出費支出	¥40,000	功労賞賞品
	負担金支出	¥6,820	送金手数料660 振込手数料6,160円
	当期支出計 (D)	¥486,600	
	配分金返納額 (E) = max (0, (A)-(D))	¥956,400	
	本部回収額(F) = ((B)-(D)- (E))x0.2	¥8,000	
	次期繰越金 (G) = (C) + (B) - (D) - (E) - (F)	¥1,007,892	
支出合計 (D)+(E)+(F)+(G)	¥2,458,892		

OS:「オープンスクール」の略

# 日本原子力学会 北関東支部

## 令和2年度 幹事選任

支部長	大井川 宏之	日本原子力研究開発機構 原子力科学研究所
副支部長	峯尾 英章	日本原子力研究開発機構 大洗研究所
庶務幹事	西尾 勝久	日本原子力研究開発機構 原子力科学研究所
会計幹事	松本 哲郎	産業技術総合研究所
幹事(監査)	堀口 賢一	日本原子力研究開発機構 核燃料サイクル工学研究所
幹事	鳥養 祐二	茨城大学
幹事	日野 哲士	日立製作所
幹事	佐藤 大樹	三菱原子燃料
幹事	石田 真也	日本原子力研究開発機構 大洗研究所
幹事	林 孝夫	量子科学技術研究開発機構 那珂核融合研究所
幹事	保志 貴司	日本原子力発電

# 日本原子力学会 北関東支部 令和2年度事業計画

自 令和2年4月1日  
至 令和3年3月31日

## 1. 会議

- |          |       |
|----------|-------|
| 1) 支部大会  | 年1回   |
| 2) 支部幹事会 | 年5回程度 |

2. 支部技術功労賞表彰(支部大会時に表彰) 年1回

3. オープンスクール(原子力の日前後の週末) 年1回

4. 北関東支部講演会 年1回

5. 若手研究者発表会 年1回

6. 研究会(後援・共催を含む) 年数回

7. 原子力教育等への助成活動 年数回

## 8. その他

上記の他に随時機会を捉えて活動を行う。

以上

# 日本原子力学会 北関東支部

## 令和2年度収支予算

自 令和2年4月1日  
至 令和3年3月31日  
(単位:円)

	科 目	決 算	備 考
収入	1. 本部配分金収入(A)	¥1,929,000	
	2. その他収入(受取利息) (講演会懇親会参加費)	¥0 ¥0	支部大会での懇親会参加費はとりやめ
	当期収入計(B)	¥1,929,000	
	前期繰越金(C)	¥1,007,892	
	収入合計 (B)+(C)	¥2,936,892	
支出	臨時雇賃金支出	¥30,000	オープンスクール日当
	会議費(会場)支出	¥170,000	支部大会・支部講演大会 会場代
	旅費交通費支出	¥260,000	若手最優秀賞への原子力学会旅費支給・会議に参加する学生への旅費補助、イベント等に参加に対する幹事の交通費
	通信運搬費支出	¥65,000	郵送費、HPサーバー賃貸料
	消耗品費支出	¥15,000	事務用消耗品
	一般外注経費支出	¥360,000	HPメンテナンス費、パンフレット印刷費、技術功労賞盾代
	出展費支出	¥500,000	オープンスクール出展費
	委託費支出	¥0	
	賃借料支出	¥0	
	諸謝金支出	¥55,000	講演会講師謝金、支部大会講師謝金
	雑出費支出	¥0	
	負担金支出	¥0	
	その他支出(上記以外)	¥60,000	功労賞・若手最優秀賞の商品
		¥414,000	リモート会議
	当期支出計 (D)	¥1,929,000	
	配分金返納額 (E) = max (0, (A)-(D))	¥0	
	本部回収額(F) = ((B)-(D)-(E))x0.2	¥0	
次期繰越金 (G) = (C) + (B) - (D) - (E) - (F)	¥1,007,892		
支出合計 (D)+(E)+(F)+(G)	¥2,936,892		

OS:「オープンスクール」の略